

令和5年度第1回
長柄町総合教育会議 会議録



長 柄 町

令和5年度第1回長柄町総合教育会議 会議録

1. 日 時 令和5年4月19日(水)
開会 9時00分 閉会 10時00分
2. 場 所 長柄町役場 2階 ミニホール
3. 出席者 長柄町 町長 月岡 清孝
長柄町教育委員会 教育長 石川 和之
教職務代理者 宮坂 雪里
教育委員 加藤 士郎
教育委員 篠田 孝行
教育委員 平原 由来
- (事務局)
- 総務課長 内藤 文雄
学校教育課長(給食センター所長) 西周 信幸
生涯学習課長(公民館長) 石井 和子
総務課課長補佐(行政管財係長) 山田 比呂貴
学校教育課主査(学校教育係長) 土屋 貴明
生涯学習課主査(生涯学習係長) 土屋 亜矢子
書記 総務課副主査 白井 雄大
4. 案件 (1) 今後の児童生徒数の推移と小学校の在り方について
(2) 中学校の休日部活動指導者の地域移行について
(3) 新公民館の現状について
(4) 新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和2年度の成人式について
5. 傍聴人 2名

(9時00分 開会)

月岡町長：あいさつ

議長選出 総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長が議長となる。

石川教育長：案件1 今後の児童生徒数の推移と小学校の在り方について
案件2 中学校の休日部活動指導者の地域移行について
学校教育課所管について説明

石井課長：案件3 新公民館の現状について
案件4 新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和
2年度の成人式について
生涯学習課所管について説明

月岡町長：以上で、事務局による案件(1)から案件(4)までの説明が終了した。これより委員の皆様から意見を頂戴したい。

宮坂委員：この会議の意味について改めて伺いたい。小学校の在り方に関するアンケートや検討について、教育委員という立場で意見するという認識でよろしいか。小学校の在り方検討委員会が別に組織されていると思うが、この会議の場で行う協議の意味について伺いたい。

石川教育長：本会議は法律に基づいて設置されており、町長と教育委員会で協力しながら、教育に関する施策について議論する場である。委員の皆様については教育委員の立場としてご意見を頂戴したい。

宮坂委員：では、そういった立場で発言させてもらう。アンケート結果を見るに統合した方が良いとの意見が多数あることから、統合に向けた舵を取っていく必要があると思う。特に令和7年度の新一年生が少なくなっており、全体的に見ても減少傾向なことは明らかのため、どのように統合していくのかという点を議論していくべきかと考える。

篠田委員：この会議については設置条例により町長部局と教育委員会とが協議する名目でスタートしている。町長は町を今後どのように運営していくのかという専門的な意見を言う立場として参加していただいている。教育委員会としても検討材料としてアンケート結果を参考資料として用意していただいた。これを受けて我々教育委員は今後町の教育方針をどのように進めていくかという意見を述べさせていただきたいと思う。

結果を見るとある程度の傾向は予想していたが、改めて数値として根拠あるものを示していただいた。町長にはアンケート結果を踏まえた検討委員会の意見を基に町民の意向を盤石なものとして方向性を示していただきたい。

この膨大な資料を取りまとめていただき大変感謝している。資料は大変重要な意見とし重く受け止め、検討委員会でも慎重に議論していきたい。

月岡町長：アンケートへはゆっくり目を通していただきたい。その他の意見にも貴重な意見が多数あるため参考になると思われる。町としても子育て支援には力をいれている。これを機に子育て世帯の移住などに繋がればという考えもあり、町としても対策を考えながら検討委員会の皆様の検討内容を踏まえ進めていきたいと考えているので皆様ご協力をお願いしたい。

平原委員：案件1について、児童数の減少に伴いPTAの会員数も減っている。児童数は減っているが仕事量そのものは変わっていないため、一人当たりの負担は増えている。6年間なにかしらの役員を引き受けているという状況である。回答者の半数以上の方が統合を望んでいるとの調査結果から、この件も含めてより良い方向に話が進んでいけばと思う。

宮坂委員：キッズルームの利用について、1月11日から利用が開始され、今まで利用された家族が2家族だけということで、ほぼ使われていないのと同じであると思う。町としてこども園内の支援センターの活用をもっとアピールしてみてもどうか。キッズルームに関する記事は町のホームページにも掲載されていない。

月岡町長：キッズルームについては私の選挙公約により進めているものである。公民館はまだ完成に至っておらず、いずれは遊具などの整備が進み子供たちの遊び場も作られる予定である。完成した際に子供たちが遊びに来られるような環境づくりをしていく予定ではあるが、完成後検証をしていく上で、よりよい方法が見つければそちらに方向性を変えていくことも視野に考えている。まずは公民館の完成後にキッズルームの利用状況を見て今後の方向性を考えていきたいと思うので、ご理解願いたい。

宮坂委員：ロビーは飲食可能か。可能であるならロビーであれば多人数で楽しく過ごしてもらうことが可能だと思う。施設の利用方法について見直せば利用者は増えると思う。

石井課長：外構工事が完了すれば外で遊ぶこともできるようなるため、利用者の増加を期待している。

宮坂委員：キッズルームというのは今後移動するのか。今のままではよくないと思う。

石井課長：今後検討、検証していきたい。

宮坂委員：子供が少ないので支援センターに一括してはどうかという意見を申し上げたい。

平原委員：案件2について、4月15日の長柄中学校のPTA総会で吹奏楽部の地域移行について学校長より説明があったが、初めて地域移行という言葉を知る保護者や生徒から不安の声が挙がっていた。しかし、先ほどの説明でゴーシュ音楽院様が地域移行をお引き受けいただいたとの事で、音楽教室などを開校しているゴーシュ音楽院様であれば安心してお願いできるのではないかと思う。今後より良い部活動になることを願っている。

篠田委員：休日部活動の地域意向について一言意見を述べさせていただきたい。
教員も多忙で、部活動の指導が原因となり公務に支障をきたすのではないかとの意見もあることから、部活動を制限しようと

というのが今回の流れかと思う。

働き方改革において月曜、木曜、と土日のどちらか一回は必ず休むようになっている。そのため、部活動は制限的に火曜、水曜、金曜、土日のどちらかに行くこととなってくる。報道では教員の多くが部活動には携わりたくないとの意見があると報じられているが、反面生徒たちと部活動に取り組みたいとの思いから教員を目指した方も多くいるのも事実で、法律によって定められているとはいえジレンマになっていると思う。

小中学校時代の部活動は思い出として一生残る地域での活動の場だと思っている。スポーツをやりたい子供は地域のスポーツクラブに入れば良いのでは、との声もある。教員の働き方改革と部活動運営の両立は非常に難しいと思うが、長柄中学校がまずは改革に向けて一步を踏み出すことは喜ばしいことと思う。小学校の金管部についてもそうだが、運動会などの鼓笛隊で演奏するにも普段から練習をしていないことには保護者が満足するような演奏はできない。楽器の整備などに多額の予算をかけている以上、小学校から継続性を持って行うことができるような環境作りが重要だと思う。子供たちがサッカーやバスケットボールのプロ選手になりたいという夢の実現に向けて教育委員会としてもできる限り体制作りをしていきたいので、町としても協力いただきたい。

月岡町長：私も子育て中であるので、全力で応援していきたいと考えている。ゴーシュ音楽院の協力を得ながら小学校も含めて今後は裾を広げていきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。

平原委員：新公民館の図書室利用について利用者が増加していると聞いている。受験勉強など、他市町村の施設を利用する場合もあると聞いていたが、新公民館ができたことにより自習スペースができたことは大変喜ばしいことだと思い、非常に感謝している。

月岡町長：皆さん喜んでご利用いただいていると聞いている。

その他

篠田委員：町駅伝大会について、県内の教育関連部局、一般の方を含め多方面から非常に興味を持たれているものであり、本大会のような本格的な駅伝は県内では数少なく長柄町の一大イベントであると思う。

今年度の開催についての可否はまだ決まっていないと思うが、仮に開催するとした場合、課題もあると思う。一つは大会を実施していなかった期間も長く、今まで大会に携わってきた人材やノウハウが残っているのか。資料やデータがあればなんとかなるかもしれないが、開催に向けて問題は無いかな。

交通安全協会などの他団体との調整や道路の環境整備など、時間と労力をかけなければならないことが多くあると思う。担当部局は教育委員会かもしれないが、是非とも成功に向け全庁をあげ協力いただきたいと思う。

石川教育長：4年間開催ができていなかったが、今年は12月開催に向けて現在調整中である。また、中止にはなっていたものの、関係機関との調整や参加チームの募集など時間を要するものも多いことから、事務局としては毎年、年度当初より開催に向けて準備をすすめていた。そのため開催に関するノウハウは残っている。

月岡町長：コロナの影響から長年開催ができていなかったが、今年は60回の記念大会でもあることから開催に向けて検討している。

宮坂委員：私は、今まで駅伝大会の一部にボランティアとして参加していたが、道路のゴミが気になる。駅伝大会直前の12月上旬に道路愛護を実施してみてもどうか。せつかく町外からくる方にきれいな長柄町を見てもらいたい。

篠田委員：環境整備については、以前までは町のスポーツクラブごとにエリアを定めて整備を行っていた。公民館の中にあるサークルなどにご協力をいただくなどの方法を考えてみてはどうか。

宮坂委員：2月の道路愛護を前倒ししてもらおうということはどうだろうか。

月岡町長：委員の意見も参考としたい。

加藤委員：この会議の構成員について伺いたい。地方自治体は二元代表制であると思うが、議会議員がなぜ入っていないのか。統合に関するアンケートについて目的があって行っているかと思う。アンケートの結果も非常に重要であると思うが、国の方針なども勘案し検討していただきたい。学校の統合には非常に膨大な予算がかかるため、小中一貫校も視野に検討していただきたい。統合の関係で一つ述べさせていただきたいが、ヤックスドラッグの店舗がないのは千葉県内で唯一本町だけである。これがなぜ統合と関係があるかであるが、現在長柄町にはヤックスドラッグが出店を行えるような地域がない。隣接の茂原や長南に店舗がありマーケティングの関係上出店が難しいのではないかと思う。しかし最終的には地政学的に役場の周りに小中学校を造り周囲を経済特区として、商業施設等呼び込む必要があると考える。現状、農業も商工関係も衰退している状況であり、残っているのは高齢者だけであることから、今後検討を進めていただきたい。最後になるが令和5年度の成人式は確実に実施していただきたい。

月岡町長：今年度の成人式の開催に向けて調整中であるため、ご協力をお願いしたい。

宮坂委員：WBCで近藤健介選手とつながりがあるので、それを生かして講演や何かしらのイベントを企画してもらうことで、こどもたちを元気づけてほしい。可能であれば関連イベントを実施して欲しい。

石川教育長：お父様は日吉小学校などで講演をさせていただいている。本人となると様々なハードルがあると思うが、参考意見として承りたい。

宮坂委員：小学校時代に王貞治さんが講演に来たことを未だに覚えている。小さいころの経験は子供たちの心に残ると思う。

石川教育長：WBC公式球にサインをいただき役場に展示している。委員の意見を参考にし、前向きに検討していきたい。

山田課長補佐：以上で予定していた議題をすべて終了したので閉会とする。

(10時00分 閉会)